

同友しずおか 2022 12

「入ってよかった」「続けてよかった」「企業も地域もよくなった!」

VOL.529



私の逸品

(株)三十飛 &
(株)Build East

沼津支部コラボレーション
で生まれた大人気
からあげ屋

～互いに支えあい、励ましあい、援けあう～

私たちは地域にあってよかったと言われる同友会であり続けます



静岡県中小企業家同友会

同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130
〒424-8527 静岡市東区御幸町1丁目16-6F FAX/054-255-7620 E-mail/doyu@tdoju.gr.jp

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくりま

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくりま

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きょうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1059 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
おざわ 小沢 きょうじ 教司	富士コミュニティエフエム放送(株) ラジオ放送	富士	佐藤 義幸
えんどう 遠藤 たかひろ 哲弥	遠藤哲弥税理士事務所 税務書類の作成、税務代理、税務相談	富士宮	宇佐美健介

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。



沼津支部コラボレーションで 生まれた大人気からあげ屋

(株)三十飛 (からあげの王様) (沼津支部)

代表取締役 佐藤 浩由氏

(株)Build East (沼津支部)

代表取締役 石澤 浩一氏



3000個完売したこだわりのからあげ

開店当初から3000個完売になるからあげ

社長自らが毎日食べたいたいと思えるからあげを作りたいと思い立ち上げた店舗からあげの王様。沼津市大岡で2022年7月にオープンしました。開店当初、1000個用意したからあげは午前中に完売、3000個用意しても完売、週に5日買いに来る人もいる人気ぶりです。女性向けの和風だしやおつまみ系の柚子胡椒の入ったもの等4種類の味があり、パリッとジューシー、そしてやわらかな食感がウリです。人気の理由はこだわりのからあげの味と食感はもちろんのこと、立地やHACCP(衛生管理手法)を取り入れた



明るい雰囲気のできたカウンター

建物があつてこそこのことです。

元々はセントラルキッチンとして構想

当初はからあげではなく現在運営している複数の居酒屋のセントラルキッチンとして、原材料や業務の効率化を図ることが目的で建設予定でした。ただ新型コロナウイルスもあり居酒屋、飲食業界には人が戻ってこない、新しい事業の柱を作らなくてはという危機感があり、自分の好きなからあげのビジネスができないかと考えました。市場調査をした結果「ブームは下火だが、おしいければいける」と考え、事業再構築補助金を使って立ち上げを計画。なかなか土地が見つからなかった中、事業の相談をしていた石澤浩一氏(株)Build East・沼津支部会員)と話をしながらじっくり待ち、周りに飲食店の少ない大岡で開店することができました。

システム建築とHACCP対応

Build Eastから従来の工法ではないシステム建築を提案され、全国で初めて倉庫や工場に使う構造を用いて、内装を整備してお店として出店しました。システム建築により建物、基礎の初



HACCPを取り入れたキッチン

期費用を抑えたうえでHACCPを取り入れた動線とこの規模の事業者では持っていない急速冷蔵冷凍機をいれることで、しっかりととした衛生管理とからあげに独自の食感を持たせることができました。この店舗をきっかけに佐藤氏は船井総研でもシステム建築の活用例の講師に呼ばれているとのこと。

理念は「愉快に爽快にたくさん笑顔」

会社や仲間と愉快に愉しく気分良く仕事をし、地域やお客様を笑顔にしたい。それができる環境を作ることが経営者の役割だと佐藤氏は考えています。大岡の地元の人からの感謝の声をいただき、お店がやっていない

時間も買い物ができるよう現在は冷凍自動販売機を整備しているとのこと。同友会の皆様も是非こだわりのおいしいからあげを食べてみてください。

取材・記事・太田喜貴氏
(株)キラガ・沼津支部

(株)三十飛 (からあげの王様)

〒410-0022 沼津市大岡423

TEL : 055-900-9122

URL : <https://karaou.com/shop/>

設立 2019年

社員数 7名

入会年月 2015年6月

事業内容 飲食店経営、飲食提供

(株)Build East

〒410-0001 沼津市足高322-36

TEL : 055-928-5505

URL : <http://www.build-east.com>

設立 2006年

社員数 13名

入会年月 2015年9月

事業内容 新築デザイン設計、福祉施設、新装工事

第36回全県経営フォーラム

やっちゃん同友会～新たな時代を切り拓け!～

開催日：11月18日(金)

会場：しずぎんホールユーフォニア アゴラ静岡会議室
 静岡信用金庫会議室 レイアップ御幸町ビル
 (株)吉村 静岡市産学交流センター ペガサート



参加者へ感謝を述べる鈴木徹実行委員長（中央）



増田経済産業部長



田辺市長

の後の記念講演では多くの経営へのヒントがあります。本日の学びをぜひ自社で実践していきましよう」と挨拶、篤威頼代表理事から「社会情勢はコロナ第8波の動向、原材

11月18日(金)第36回全県経営フォーラムがしずぎんホールユーフォニアはじめ、6会場にて開催され、総勢292名が参加しました。コロナ禍以来3年ぶりのリアル開催となる本年は、分科会から始まり全体会、記念講演の順に開催。多くの参加者が顔をあわせて学びと交流を深める機会となりました。

分科会は「改革、共存、事業承継・持続可能、希望・不離一体、未来、突破、多様性、共感」の8つのテーマで設営し、新たな時代にむけた企業づくりを学び合いました。(分科会の感想は5ページ以降に掲載しています)

全体会・記念講演はしずぎんホールユーフォニアをメイン会場に、レイアップ御幸町ビル・(株)吉村をサテライト会場に開催しました。全体会では冒頭、鈴木徹実行委員長から「準備から本日の開催まで約10ヶ月、実行委員の皆様ありがとうございました。3年ぶりのリアル開催を実現でき、多くの学びがあったと感じています。中小企業を取り巻く環境はコロナ禍はじめ、原材料・燃料費高騰など厳しい状況が続いています。しかし我々経営者は負けてはいられません。先ほどの分科会、そしてこの後の記念講演では多くの経営へのヒントがあります。本日の学びをぜひ自社で実践していきましよう」と挨拶、篤威頼代表理事から「社会情勢はコロナ第8波の動向、原材

料の高騰、ウクライナ問題、気候変動と激動のときを迎え、一方でSDGsやビジネスと人権など新たな経済、社会の在り方を目指す動きも広がっています。中同協が掲げるポストコロナにおける企業づくり6つの視点、静岡同友会2025年ビジョンをもとに難局を乗り越える運動を展開して参ります。」と来賓の皆さまへのご臨席の御礼とともに挨拶しました。続いて、ご臨席いただいた6名のご来賓を紹介の後、田辺信宏静岡市長、増田始己静岡県経済産業部長からご祝辞をいただきました。田辺市長からは、松下幸之助氏の「晴れの日よし、雨の日なおよし」という言葉とともに地域経済牽引への期待を参加者へ伝えました。増田経済産業部長からは台風15号により被災された方へのお見舞いの言葉を述べたのち、静岡県が実施する制度融資、支援策を紹介。県行政として地域経済発展にむけ取組む姿勢と参加企業が時代変化に適応し、発展していくとへの期待を伝えました。

その後の記念講演では、愛知県の日間賀島で1960年から続くホテルを経営する3代目経営者の中山幸彦氏(有)日間賀観光ホテル・代表取締役)よりコロナ禍で直面した危機を乗り越えた経営実践をお話いただきました。

〈当日ご臨席頂いた来賓の皆様〉

- 田辺 信宏様 静岡市長
- 増田 始己様 静岡県経済産業部長
- 清水 宏一様 財務省東海財務局 静岡財務事務所長
- 石丸 哲治様 厚生労働省静岡労働局長
- 出穂洋一郎様 株式会社日本政策金融公庫 静岡支店長
- 山本 義彦様 静岡大学名誉教授 / 静岡県中小企業家同友会顧問

仲間と地域の価値を創造し、新しい時代を切り拓く

講師 中山幸彦氏 (有)日間賀観光ホテル・代表取締役／愛知中小企業家同友会

愛知県知多半島先端から2kmほど離れた場所

場所に位置する離島・日間賀島で旅館業を営む(有)日間賀観光ホテル。代表取締役の中山幸彦氏は大学卒業後、リゾートホテルでの修行を経て2004年に入社。事業を継いだのは2012年。リーマンショックにより業界が大きく変わると感じた先代が、自身も健在の内にと事業承継を決めました。中山氏は「今の環境は、自分たちがやったこと」ではなく引き継いだものであり、そこに感謝している」と、先代たちの想いを継いで経営していると話します。

その後、同友会での学びから、「島外採用」「労働生産性向上」「地産地消向上」を

目指し、2015年に水産加工業挑戦の為にホテルの増築工事の計画を進めていきます。しかし、工事規模が折り合わず着工が遅れていきます。方針が決められない不安から塞ぎ込んでしまっていました。島の仲間との会話から、時期によっては設備や人工がほとんど稼働してない水産加工場・鮮魚屋、宿泊施設があることに気づきました。島全体をひとつの会社と考えると様々な資源がある、では自社はどんな役割を担えばよいのだろうか。「良い料理を常に研究開発していきたい」「まだまだ活かしきれっていない島の資源をどんどん見つけていきたい」と



中山 幸彦氏

気持ちが変わり、地域との連携を前提とした増築工事に舵を切ることを決意しま

した。

2018年に増築工事が完了し、これからという時にコロナ禍に直面。営業をしてはいけないうちが風潮が強くなる中、売上は激減し、2020年4月、5月は休業を余儀なくされました。中山氏は同友会での学びを活かし、すぐに「資金確保」「雇用を絶対に守る」「情報収集する」ことに注力。「リーマンショック時の対応など同友会の先輩から聞き、学んでいたからこそ初めて経験することでも一歩一歩確実に行動することができ、社員に自信をもって方針を伝えることができた」と当時を振り返りました。

2020年6月以降になると事業再開にむけ、国・県の支援制度を活用しながら社内での業務を再開。在庫の見直しや業務の内製化、コロナ前は売上の中心だった団体客から個人のお客様へ付加価値の高いサービスの提供へと方向性を明確にしていきました。料理・サービス向上のための社員研修の実施や経営方針にあわせたホテルの改装地元漁師・水産加工業者・観光業者との連携を行っていきました。中山氏は「コロナ禍で危機に直面したことで売上が0になり初めて立ち止まることができました。冷静に考えると、コロナ前は知らず知らずのうちに売上を上げることが目的になっていた。島の人や資源を活かす」という理念からずれてきていたことに気付いた」と話し、経営理念に立ち返る事業展開に繋がっています。講演の最後に地域の仲間と共に描き、実践する100年ビジョンにも触れ、中山氏がコロナ禍の危機から得た理念に基づく経

営への方針転換、変換する価値観の中での事業展開、社員・地域・世の中に対しての

自社の役割の考え方から新たな時代にむけた経営を学び合う機会となりました。

全体会・記念講演はメイン会場とサテライト会場（2会場）をZOOMで繋いでハイブリッド開催！

しずぎんホールユーフォニア



レイアップ御幸町ビル



(株)吉村



第1分科会

未来を書き換える！

〜一生に一度の人生、だったらやろう！

報告者：鈴木進太郎氏

(株)肉のすずき・富士宮支部



大池盛一郎氏

(有)カーライフ静岡・志太支部

くすぶっていた若手時代から、人との出会いや同友会での経験、学びなどを通じて、もがき苦しみながら自己変革、社内変革に取り組んできた経緯が、非常にわかりやすく伝わってきた報告でした。報告を通じて「人によって硬直していた社内も変わっていく」ことに改めて気付かされ、現状で良しとするのではなく、常にあるべき姿に向かって自己変革し続ける必要性を感じました。また「10年後の未来のために何をすべきか？」をテーマとしたバズでは主に事業承継について語り合いましたが、受け継ぐ側、受け渡す側に関わらず、みなそれぞれに一朝一夕には解決できない課題を抱えていました。自社としても後継者候補のいない現状で、本当にM&A一本で良いのか？若手の採用も含めたあらゆる可能性を考え、そして実行していく必要があるんじゃないのか？を自らに問いかけたバズとなりました。

第2分科会

伝統の味と、新しい技術で、その先の未来へ

報告者：鈴木義丸氏

(株)ハチマル・榛南支部



吉村隆氏

(有)東海金属・富士宮支部

ハネス事業部8割、食品事業部2割。創業194年の歴史ある会社。鈴木氏の言葉から感じたのは、当時の醤油の味を呼び起こす強い想いと行動力、自分を取り巻く全ての人の強い感謝の想いでした。醤油の原料である大豆、小麦、食塩、水選びへのこだわりは強く、創業の想いが強い会社を突撃訪問するほど。竜巻被災を受けた時にもらった言葉「経営者の前を向いている姿は、社員を安心させる」を胸に突き進む強さに、心を打たれました。目の前に大きな苦難、試練が起こった際、自分も乗り越える決断をすることが出来るのか考えさせられました。事前の備えも大事ですが、事業を続ける強い想い、社員とその家族を守る想い、この想いを今以上に強く磨いていこうと思います。自社のビジョンを社員と共有して、長所・短所を互いに認め合い、これからの複雑で不確定で曖昧な変化の激しい時代に負けず、頑張ります。

第3分科会

理念があるから今がある！
持続可能な事業へと進化させた
俺の生き様

報告者：太田誠氏

(有)M.C.S.KURITA・静岡支部



久保佳通氏

(株)クボパン・榛南支部

まず初めに私が第3分科会を選んだ理由ですが、報告者の太田氏と経営指針を創る会のスタッフで一緒になり、太田氏の人柄と、いざれ私にも訪れる事業承継に興味を持ったからです。話を聞くにつれ太田氏の魅力に引き込まれていき、中でも自分を信じて目標達成の為に諦めずに強い信念を貫く姿勢に感銘を受けました。また太田氏には沢山の恩人がいるとのことですが、その方々もきっと太田氏の人柄に惹かれていたのではないかと思います。バズでは「自分を信じてやっているか」のテーマでしたが、グループの中で経営不振で理念を練り直そうかと考え、自分を信じきれていないと悩んでいる方の話を聞いて多くの学びがありました。最後にサブライズで息子さんのインタビューがあり、短い時間でしたが、短い時間でしたが人として、経営者としても魅力のある太田氏を一番近くで見てきた息子さんに継承していく様を見るのができ貴重な時間を共有させていただきました。

第4分科会

目指すのWe are happy!
〜未来に希望を描き続ける
社会と地域の耕し方〜

報告者：津賀由布子氏

(有)サンデオス・沼津支部



三浦大輔氏

(有)三浦水産・伊東支部

特に社員に対しての熱い想いは自分が経営者として欠けている部分だと再認識しました。「村を作りたい」という想いから社員・地域を巻き込んで会社づくりに取り組む姿勢は刺激になりました。また、将来のビジョンとして「社員が思い描いた未来を実現している姿を陰ながら笑って見ていたい」と話していたところに強く共感しました。経営者はなかなか評価されにくい立場です。結果を残さなければ叩かれる結果を残しても当たり前のような顔をされる。そんな状況に何度も凹みましたが、将来のビジョンを「勤めている社員やその家族、お客様、仕入れ先様、地域の皆様が自社を通して笑顔になつていただくこと」と思えるようになった時に、経営者としての幸せを認識できるようなりました。自分も将来は陰からみんなの笑顔を見て「へっ！やってやっただけバカヤロー！」なんて自分に酔いたいと思います。それを目標に改めて「やってやるぞ！バカヤロー！」と思わせられた報告でした。

第5分科会

Made in 富士山で挑戦！
強みを活かして未来に輝く企業経営

報告者：渡邊美穂氏

(株)旭フアクトリー・富士宮支部

自社の強みを活かしていく報告を受けて「経営分析はできているか?」「未来は描けているか?」について議論しました。経営分析についてはできているが社員と共有できていない、分析しているつもりだができていないかも?と意見が出て、再度SWOT分析などをして見直さなければいけないと感じました。未来像については上記と同じで共有できていない、現状の問題解決に追われてしまい、やらないといけないけどできていない、など意見がでました。今回の報告を受けて個人的に心に残ったことは新規事業に辿り着いた本質は「会社の存続」という言葉です。売上や利益率に目が行って本質を見失っていた自分がいたことに気づくことが出来ました。「社長の仕事は自社の分析を日々繰り返し目指すべき未来像を示し導いていくことだ」とグループのメンバーで共通理解を得ることが出来ました。「原点回帰」して「何のために会社は存在しているのか?」を見つめ直して自己研鑽に励んでいきたいと思えます。



鈴木 一道氏

(幸和ハウジング(株)・浜松支部)

第6分科会

女性が働きやすい企業づくりは
全社員が輝く

―多様な人材が活躍する企業の戦略と課題とは?―

パネリスト..

影山 真里氏 (株)牧之原石材・榛南支部

塩川 佳司氏 (株)廻天・御殿場支部

石光 氏 (Vaticos合同会社・静岡支部)

フアシリテーター..

須山 由佳子氏 (旬キャリア・アップ・浜松支部)

働き方が大きく変化した時代、3名のパネリストによる社員が輝く新たな取り組みの報告でした。影山氏は、男性メインの業界に多くの女性を雇用することで業界の古き体質からの脱却に挑戦しました。ラジオや様々なツールを用い広報活動を強化することでお客様との関係を構築。社員が働きがいを感じる地域一帯店を目指しているそうです。塩川氏は3代目として事業を継承。最近では「働きたいけど働けない」人達のために、50年の実績と女性が活躍する風土を生かし、新たな雇用機会を創出し、人手不足を補う仕組みづくりで事業を拡張しました。石氏はゼロからの起業で、ご自身の経験からシングルマザーの活躍できる環境を設けました。柔軟に働ける環境とお客様の満足度を両立させるため、二人体制にしたり動画マニュアルを活用するなど工夫しています。3名の報告を聞き、課題を受け入れながら基盤づくりの勢力的に取り組み、社員が自然と働きがいを感じる環境を構築することで、地域の支えとなり企業価値の向上にも繋がると感じました。様々な事例を参考にして、より社員のウェルビーイング向上に注力したいと感じました。



片野 貴一郎氏

(株)モスク・クリエイション・御殿場支部

第7分科会

困難をバネに乗り越えた先、
見えた希望の光とは

報告者：堀田 久美氏

(合同会社)のびのび 栄桜助産所・富士支部

当日、会場に到着すると何となく違和感があると報告者の堀田氏が不在とのこと。「え、どういうこと?」という不安とともにスタートしました。しかし、室長からの説明で不在の理由も納得、事前収録での報告となっていました。報告は、一助産師から種々の資格を取得、仕事や人間関係に悩みながらも周囲の人たちの協力や理解を得て会社設立・経営に至るまで、色々な壁や困難を突破してきた経緯を語るといふ中身の詰まった時間でした。その中で、「asterisk」(袖)の持つ意味、合同会社にした経緯などの説明もあり、堀田氏の会社に対する強い思いが伝わってきました。また、「自分が尊敬する人を会社に引き入れる。」という発想は、私には今までなかった視点であり、とても斬新に感じました。私は社長になり今年で10年になりますが、経営していく以上、壁や困難というものは形を変えて次々と出てくるものだと思います。ですが「今日も前向きにがんばろう!」と勇気づけられる堀田氏の報告でした。



宮澤 学氏 (宮澤電池産業(株)・静岡支部)

第8分科会

想いを包み、多様な働き方を
社員が認め合う会社へ

報告者：植田 勝利氏

(株)吉村 静岡営業所・志太支部

取締役生産本部長 植田氏ははじめ社員の皆さまから会社、理念、様々な仕組みのご説明があり、社屋内の見学はもちろんのこと、最後にはお茶のテイスティングのお時間もあって、おもてなしに溢れた盛りだくさんの内容でした。楽しいだけでなく、(株)吉村で実施されている会議の模擬体験で最後の質問・まとめを実践し、その効果を分科会参加者がその場で実感し、自社にも直ぐに持ち帰れる内容でした。今回は、社員からの理念や自社のあり方(理念)とやり方(仕組み)に至る経緯の報告だったところがいつもの分科会とは異なる点と思いました。すでに経営者の意図や考えが反映されているうえで、社員自らが経営理念・方針・計画に基づいて主体的に動いている実践事例でした。「こうした方が会社のためになるのでは?」と思いついたときに社員自らが判断し、実践できる環境・文化が整えられていることを感じた分科会でした。



梶川 久美子氏 (サツマ電機(株)・沼津支部)

